

和牛界のオリンピック

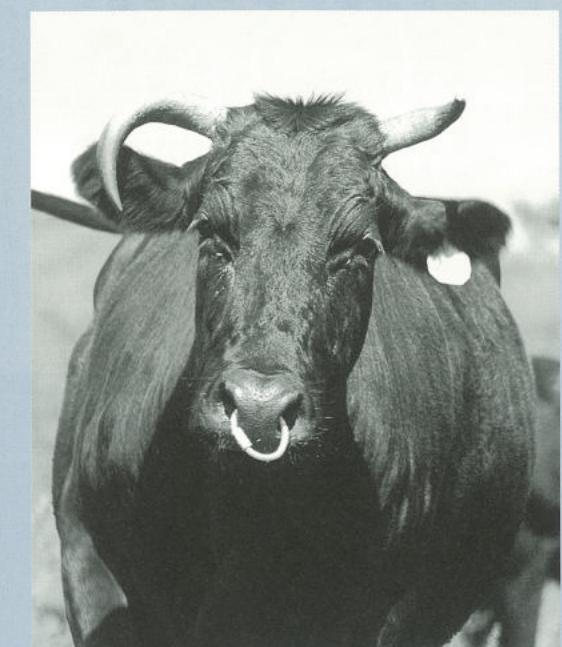
「いわてから 素敵な和牛の 夢・発信」を大会スローガンに、「第七回全国和牛能力共進会」(主催・全国和牛登録協会)が、九月十一日(土)十五日までの五日間、滝沢村の岩手産業文化センター(種牛の部)と、紫波町の(株)岩手畜産流通センター(肉牛の部)を会場に開かれます。

全国共進会は、五年ごとに全国各地のエリート和牛を一堂に集めて開かれる、いわば和牛界のオリンピック。岩手県での開催は初めてで、和牛の主産地「岩手」を全国にアピールする絶好の機会です。また、消費者と生産者の交流を図るイベント「ファームフェスタ'97 in いわて」も同時開催されます。

本県からは二十二頭が出場

七月一日、全国共進会の県最終選抜会を兼ねた岩手県畜産共進会が零石町の県経済連中央家畜市場で行われました。地区選抜、県予選選抜を勝ち抜いた黒毛和種百六十頭が出場し、月齢などにより審査が行われた結果、三十二頭が本県代表に決定しています。

出場した牛は、脂肪交雑(サシ)や皮下脂肪など産肉能力に優れた雌牛に本県の「第5夏藤」、「山盛金」など優秀な種雄牛十六頭を計画交配して生産されたもの。今大会を目指して選抜されたエリート中のエリートぞろいです。いずれも農



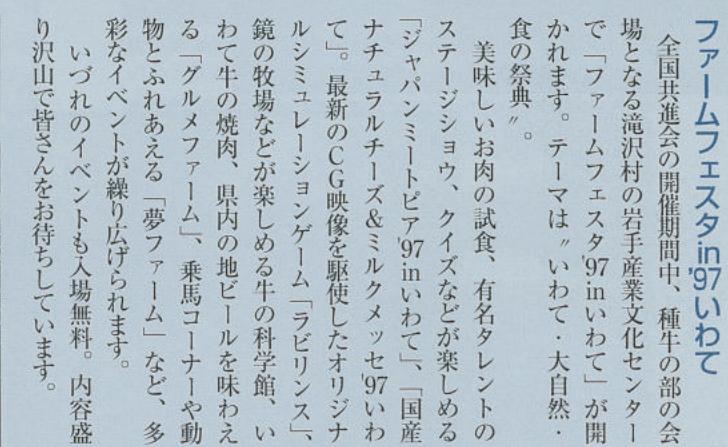
家が手塩にかけて育てた自慢の牛だけに、毛並みは艶やかで均整の取れた見事なプロボーション。一頭一頭に産地のプライドが光っています。

※岩手産業文化センターで開かれる種牛の部のみ一般参観ができます。



ファームフェスタ'97 in いわてのキャラクター
チャンプ君

第7回 全国和牛能力共進会 ファームフェスタ'97 in いわて



岩手産業文化センター

美しいお肉の試食、有名タレントのステージショウ、クイズなどが楽しめる「ジャパンミートピア'97 in いわて」、「国産ナチュラルチーズ & ミルクメット'97 in いわて」。最新のCG映像を駆使したオリジナルミュージシャンゲーム「ラビリンス」、鏡の牧場などが楽しめる牛の科学館、いわて牛の焼肉、県内の地ビールを味わえる「グルメファーム」、乗馬コーナーや動物とふれあえる「夢ファーム」など、多彩なイベントが繰り広げられます。

いづれのイベントも入場無料。内容盛り沢山で皆さんをお待ちしています。

東北横断自動車道 秋田線が開通

北上—秋田間が一時間半に

七月二十三日、待望の東北横断自動車道秋田線が全面開通。北上—秋田間のうち、最後に残っていた「北上西—湯田間」(二十二・六km)の完成で、東北自動車道北上ジャンクションと秋田南インターチェンジの百七kmが一本つながり、岩手—秋田の横軸の高速交通網が本格的に動き出すことになりました。

国道107号と並行する北上西—湯田間は、土工延長十・四km、トンネル延長九・四km、橋りょう延長一・八km。昭和六十三年から着手し、事業費は八百七十億円。暫定二車線で片側一車線の対面交換となります。この区間は、豪雪地帯であることから、九年秋ごろの開通を見込んでいましたが、計画を上回るペースで工事が進み、早期完成となりました。

東北横断自動車道秋田線は、北上ジャンクション—北上西間が六年度に使用開始。秋田側も秋田南—湯田間が既に開通しています。北上西—湯田間の開通により北上—秋田間は約一時間半で結ばれることになり、今までより三十分程度短縮されます。

期待高まる岩手・秋田の横軸連携

今年の三月には秋田新幹線(秋田—盛岡)が開業。これまで奥羽山脈によつてささえぎられてきた岩手と秋田の距離が、

最終的には釜石と結ぶ

高速交通網の整備に伴ってぐんと縮まりました。今後、産業、文化、経済面など多方面で横軸の連携・交流が活発化されることが期待されています。

特に、秋田道と東北自動車道が直結し、交通の要所となる北上市周辺は、東北地方の新しい生産・物流拠点として注目を集めています。

また、湯田町では北上西インターチェンジ十二・九km、湯田インターチェンジ八・七kmにある錦秋湖サービスエリアに隣接した温泉施設「峰山パークランド・オアシス館」を建設するなど地域活性化への取り組みも行われています。

岩手県分は、八年度末に整備計画区间に組み込まれた宮守—東和間(二十三km)、基本計画区间となつた釜石—遠野間(二十四km)があり、そのほか、東和花巻間の工事が九年度からよいよ本格化、最終的に秋田北と釜石が結ばれるのは平成二十年代と見込まれています。

